

やまなしの福祉

No.349
2019
月号

特集

世代間交流を考える



写真：笛吹市芦川町の伝統行事「三月飯」の様子(上段)、芦川町の住民と山梨県立大学の学生たち(下段)

- P2 多世代をつなぐ伝統行事
- P8 福祉の仕事体験・研修のご案内
- P3 世代を超えて遊び、スポーツを楽しむ
- P9 介護講座、出前出張講座のご案内
- P4 大学生と住民が地域資源の掘り起こし
- P10 やまなしNPO情報ネットをご活用下さい
- P5 【報告】山梨県民生児委員大会
- P11 【連載】社協ボランティアセンター
- P6 【報告】シルバー作品展・俳句大会
- 情報コーナー(道志村社協)

世代間交流を考える



都市化の進展や核家族化、少子化に伴って地域のつながりが希薄になり、かつては家庭や地域で当たり前であった世代間の交流が少なくなっていると言われています。多様な世代が共に暮らす意味、大切さなどについて、笛吹市芦川町の伝統行事と「世代間交流」をテーマに開催している「いきいき山梨ねんりんピック」、山梨県立大学のプロジェクトを通して考えてみました。



笛吹市芦川町の「三月飯」 伝統行事でつながり深める

笛吹市芦川町では、毎年6月に伝統行事「三月飯」を体験する事業を開催しています。途絶えていた行事を地域住民と笛吹市社会福祉協議会が協力して復活させました。復活して11年。伝統行事を通して地域と世代間のつながりが深まっています。

住民たちの熱い思いで復活

「三月飯」は、ひな祭りで飾ったひし餅を子どもたちが河原で野菜などと一緒に煮て、お雑煮や雑炊にして家族や住民に振る舞う行事です。住民同士や親子、祖父・祖母と孫たちがつながっていくために欠かせない行事でしたが、子どもが少なくなつて約40年前に途絶えました。

しかし、住民たちの熱い思いから、笛吹市社会福祉協議会の「一地区一良いとこ事業」として2009年に復活しました。以後毎年、笛吹市社協と住民らによる実行委員会が中心になって実施しています。

笛吹市芦川町の人口は約340人。6割が65歳以上の高齢者です。子どもも減少していて笛吹市立芦川小学校の児童数は5人。復活した事業は、住民だけでなく芦川出身者の家族も訪れて交流することも目的にしています。実行委員長のさわ けさゆきの野沢今朝幸さんは「子ども同士、住民同士の横のつながり、世代間の縦のつながりを深めるのに大切な行事です。芦川出身者が古里を訪れるきっかけにもなって家族ぐるみで交流してほしい」と期待しています。



お年寄りの指導で子どもたちと一緒に調理

お年寄りが子どもたちの「先生役」

今年は6月30日に開催。会場の芦川オートキャンプ場には、雨模様にもかかわらず住民や芦川出身の家族ら126人が集まりました。準備も指導する「先生役」もすべて住民たち。子どもたちは、住民に教わりながら、かまどで火をおこす作業から包丁の使い方、調理まで体験しました。実行委員の霜村袈裟しもむら けさえ恵さんは「手を出したくなるのをがまんして教えました。孫は大学生ですが、孫の小さなころを思い出します。喜んでくれると嬉しい」と目を細めていました。子どもたちも「分かりやすく教えてくれるので楽しい」と声を弾ませていました。

出来上がった「三月飯」は、テーブルを囲んで会食。地域の人たちが持ち寄った漬物なども並び、会話も盛り上がりました。食事の後は輪投げやスイカ割りを楽しみました。御坂町から小学生の2人の子どもと参加した夫婦は「親の言うことはなかなか聞きませんが、お年寄りの言うことは素直に聞きます。私たちもいろいろ教えていただき勉強になりました」と笑顔で話してくれました。



お年寄りと一緒に火をおこす子どもたち

生きがいづくりにも一役

芦川小学校は校長先生をはじめみんなで参加。^{しんどうまさかず}進藤雅一校長は「芦川小学校は地域あつての学校です。三月飯をはじめボランティア祭りなどの行事に積極的に参加しています。子どもたちの顔を知ってもらい、地域ぐるみで育ててもらっています」と話しています。

笛吹市社協芦川地域事務所の^{あしざわうめこ}芦澤梅子さんは「三月飯には芦川出身の親子が参加し、芦川のお年寄りや仲良くなるなどの地域間、世代間交流があります。お年寄りもボランティアとして活躍しています」と話しています。

このように事業を通じて、さまざまな年代・地域の交流が生まれ、また役割を持って参加するお年寄りも多く、生きがいづくりにもつながっています。芦川町の地域福祉活動計画のテーマ『住民全員がボランティア』を合言葉にし、日ごろから何事もみんなで協力し合える地域を目指していきたいと、熱く語ってくれました。



「まっすぐ行って!」スイカ割りに歓声



おいしい料理になったかな?



楽しい食事に会話も弾みます



輪投げに歓声

いきいき山梨ねんりんピック

世代を超えて楽しく交流

毎年9月に開催する「いきいき山梨ねんりんピック」をご存じですか?高齢者をはじめ、子どもから大人までどなたでも参加できるイベントです(主催:いきいき山梨ねんりんピック実行委員会/事務局:山梨県社会福祉協議会)。

スポーツや趣味、昔の遊びコーナーも

「いきいき山梨ねんりんピック」は、高齢者の健康、生きがい、仲間づくりや、社会参加の促進、世代間交流を目的に開催しています。高齢者総合スポーツ大会、ふれあいスポーツフェア、趣味の広場(囲碁、将棋など)については、事前エントリーが必要ですが、当日は甲府・小瀬スポーツ公園をメイン会場に、スポーツや文化の体験コーナー、福祉団体等の手作り作品や軽食の販売など、誰でも楽しめる出展ブースを設けています。三世代ふれあい広場では、手作り工作体験コーナー・昔の遊びコーナーなど、絵手紙やパステルアート、凧作りなど無料で体験することができます。また、誰でもどこでも気軽に楽しめるスポーツとして、当日参加できるニュースポーツチャレンジコーナーがあります。

高齢者の力作に若者も感嘆

また、6月7日(金)~9日(日)には山梨県防災新館1階オープンスクエアで「いきいき山梨ねんりんピック2019シルバークラフト展・シルバークラフト大会」を開催しました。会場には600人以上の方々が来場され、出品者とその家族が作品の前で会話を弾ませる様子や、高齢者の力作に感嘆する若者など、世代を超えて作品を楽しむ様子が見られました。(詳しくは6、7ページに掲載)

いきいき山梨ねんりんピックでは、これらの事業を通じながら今後も世代間交流に取り組んでいきます。

~いきいき山梨ねんりんピック2019の開催~

日時 / 令和元年9月28日(土) 午前9時から午後3時
会場 / 小瀬スポーツ公園 他



凧作りコーナー



風車づくりも子どもたちに大人気



グラウンド・ゴルフ大会



ミニコンサート

【芦川えんさ(仮)地域活性化プロジェクト】

活性化へ学生と住民が協働 若者と高齢者の交流深まる

山梨県立大学国際政策学部の学生たちが、過疎化と高齢化が進む笛吹市芦川町で、芦川の地域住民や芦川まちづくり実行委員会と協力し「芦川えんさ(仮)地域活性化プロジェクト」と名付けた取り組みを進めています。このプロジェクトは、芦川に拠点を置く株アルマと協働し、山梨中銀地方創生基金の助成事業や地方と東京圏の大学生対流促進事業の一環として、芦川町の人たちが昔から守ってきたものを資源として活用し、関係人口、移住・定住人口の増加に結び付けようという試みです。学生と住民が協働で取り組む中、世代間の交流も深まっています。同大学講師の安藤勝洋さんに伺いました。



山梨県立大学国際政策学部
コミュニケーション学科
講師 安藤 勝洋さん

Q.芦川えんさ(仮)地域活性化プロジェクトとは？

「えんさ」は、甲州弁で「縁側」です。「縁側でお茶を飲みながら話をし、人の輪が広がっていく、地域内外の人の交流が盛んになる」。まだ仮称ですが、そんな意味が込められています。昨年5月から、芦川町で隠れた地域資源の掘り起こしを進めています。例えば、手作りのコンニャク。学生たちが「こんなコンニャク食べたことがない」と驚くおいしさです。住民にしてみれば当たり前のものでも、外から見るとすごいと思うものがたくさんあります。

今後は交流拠点(案内所・売店・カフェなど)を開設して、地域の特性や住民の技術を生かした農産物や手作りを販売し、ロゴやイラストもデザインして「芦川」を発信していく計画です。今年7月には活動の拠点となる古民家で「芦川えんさ祭」を開き、住民と一緒に楽しい夏の夕べを過ごしました。



芦川町の子どもたちとも交流

Q.住民と学生たちの交流は？

住民と学生たち、世代間の交流も深まっています。話を聞いたり、昔の遊びを教えてもらったりしているうちに仲良くなり、お年寄りも学生たちが来ると「孫のようだ」と喜んでいきます。

Q.世代間交流が希薄になっていると言われますが？

かつての地縁型のコミュニティが変わり、テーマ型になってきているのではないのでしょうか。サークルのような集まりやネット上でのコミュニティ(SNSなど)といった、あるテーマに興味をもつ人たちが集う関係性になってきています。「えんさ」は、地域性もテーマ性もあり、また世代も超えて一緒に混じり合うような空間にしたいと考えています。

Q.世代間交流の必要性は？

世代の違う人が単純に交流しても楽しいということは芦川町で分かりました。世代間交流をすることで幸福になれるし、あると楽しいだろうと思います。一緒にいるだけでもみんなニコニコしています。その人たちが楽しいか、また参加したいか、何かを一緒にしたいという気持ちが芽生えるかどうか、笑顔があるかどうか、ですね。それがあれば地域が元気になるのではないのでしょうか。



おばあちゃんたちと世間話も

Q.世代間交流を進めるには？

これまでに楽しいイベントを大学生と一緒にやることで、世代間交流を進めることもできました。高齢者が内発的にやりたい、行きたいという仕掛け、また若者にしてもおばあちゃん、おじいちゃんに会いたいな、という仕掛けが大切。参加者が心から楽しいと思えるものにしていく必要があります。そうしないと交流は深まらないし、続かないのではないのでしょうか。行政や社会福祉協議会の方々とは、住民の皆さんが楽しいと思うことを一緒につくっていかねばと考えます。

まとめ

県内では、今回紹介した事例以外にも、各地で「世代間交流」が行われています。年齢や立場を超えて、さまざまな人たちが楽しみや喜びを共にすることは、互いに認めあい、支えあう社会へとつながっていくのではないのでしょうか。

子どもの育ちを支える みんなで取り組む地域の基盤づくり



山梨県民生委員児童委員大会

山梨県民生委員児童委員協議会(戸田知会長)は5月17日、甲府市のYCC県民文化ホールで山梨県民生委員児童委員大会を開催しました。今大会は民生委員児童委員約1,500名が参加され、オープニングアトラクションでは石和誠心幼稚園(笛吹市)の園児によるマーチングと歌が披露され、子どもたちの元気いっぱいな演奏に民生委員児童委員活動へのエールをもらいました。

式典では永年勤続委員236名、優良民生委員児童委員協議会4地区(甲府市春日地区、甲運地区、韮崎市旭地区、笛吹市一宮地区)への表彰が行われるとともに、山梨県共同募金会から日頃の募金活動協力への感謝を込めて、北杜市・笛吹市・市川三郷町の民生委員児童委員協議会へ感謝状が贈られました。

また、淑徳大学総合福祉学部教授の柏女^{かしわめ}霊^{れい}峰^{ほう}さんによる「子どもの育ちを支える みんなで取り組む地域の基盤づくり」と題した記念講演が行われました。



石和誠心幼稚園(笛吹市)の園児によるオープニングアトラクション



記念講演をする淑徳大学総合福祉学部教授の柏女霊峰さん



優良民生児童委員協議会の表彰

切れ目を埋める民生委員児童委員の役割

はじめに、現代社会が直面している問題を概観しました。私たちは、古いしがらみや束縛から解放された半面、『新しい連帯』が作れず、孤立に向かっているとしています。そして、それが『公共』の『公』の部分の肥大化を招き、『共』の部分がやせ細っていくことにより、その問題を『私たちの問題』としてとらえる素地を奪っていきます。

また、公が作る制度には切れ目が生じることが宿命であり、制度から漏れてしまう人や制度にアクセスできない人をつくり出してしまいます。その制度と人々との間を埋める活動の一つが民間の地域公益的活動であり、インクルーシブ(包摂的)な社会づくりのためには切れ目を埋める民間の制度外活動を活性化するとともに、制度内福祉と制度外活動の協働した取り組みが必要となります。その制度と協働した民間のボランティアな役割を担っているのが民生委員児童委員制度なのです。

公民協働による切れ目ない支援を

2016年6月には戦後にできた児童福祉法の理念が70年ぶりに改正され、子どもの能動的権利(子ども自らが自分の意見を発信できる権利、自分で考えて行動する権利)や保護者支援の責務の規定など、子ども家庭福祉の理念は大きく前進しました。地域で切れ目なく継続的・包括的な子育て支援や家庭支援を行うためには行政と民間・地域活動との協働が重要となります。それぞれの地域でそうした協働の体制づくりを推進していくため、2014年に全国社会福祉協議会は検討会を立ち上げ、「子どもの育ちを支える新たなプラットフォーム～みんなで取り組む地域の基盤づくり～」と題する報告書を作成しました。

共生社会づくりの理念

これからの子ども家庭福祉は、共生社会の創出をめざしつつ、「子どもの権利保障」「子育て家庭支援」を根幹にすえながら、「子どもの最善の利益を図る公的責任」と「社会連帯によるつながりの再構築」という両者の視点を整合化させるとともに、「教育」という人づくり政策を織り交ぜていくことが必要となるとのことでした。「民生委員児童委員として、公と共をつなぎながら、みんなで子どもの育ちを支えていく地域の基盤づくりにこれからも取り組んでいこう」そんな気持ちを新たにしました。

山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大会

山梨県シルバー作品展
優秀賞



日本画「秋され」
古谷 三七子(76歳)



日本画「フィヨルド紀行」
田中 康子(79歳)



洋画「花の浪漫」
藤巻 幸枝(72歳)



洋画「峡北の民家」
田代 眞由美(76歳)



彫刻「バラ」
赤池 辰彦(78歳)



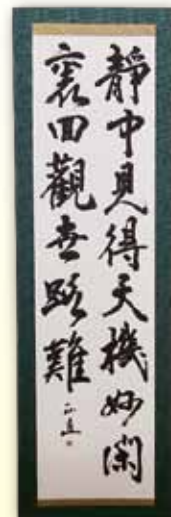
彫刻「イノシシ」
渡辺 信玄(85歳)



工芸「夕映えの東尋坊」
望月 弘明(95歳)



工芸「花器」
小川 久男(77歳)



書「載石屏詩」
小林 正直(82歳)



書「素月披」
小林 佳子(76歳)



写真「滝」
沼中 秀夫(76歳)



写真「縹霧」
村松 貞夫(75歳)

年齢は令和2年4月1日現在の満年齢



日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に、217点の作品が集まりました。
各部門で優秀賞に選ばれた作品は、11月に開催される「第32回全国健康福祉祭和歌山大会」の美術展に山梨県代表作品として出品されます。

大会 作品紹介

いきいき山梨ねんりんピック実行委員会(事務局:山梨県社会福祉協議会)は、6月7日から6月9日までの3日間、「いきいき山梨ねんりんピック2019 山梨県シルバー作品展・シルバー俳句大会」を甲府市・山梨県防災新館1階オープンスクエアで開催しました。

山梨県シルバー俳句大会 特選句

山田 省吾 選

夏座敷古木の真木を褒めて辞す

韮崎市 戸島栄 九三歳

白足袋をぬぎて華燭の任を解く

大月市 大森多美代子 八二歳

記念樹の共に生きたる冬芽かな

大月市 福島利江 八八歳

あらた代の富士煌めいて五月かな

富士吉田市 塚田智之 六四歳

茜さす雪の山巔神在す

笛吹市 渡辺伊都子 八四歳

上田 正久日 選

日脚伸ぶ未知の自分に会ふ予感

大月市 和田羊子 八七歳

雪搔いて老いの五体を使い切る

富士吉田市 舟久保修 七七歳

初詣で後期高齢空仰ぐ

笛吹市 小山一昭 七九歳

鐘をつく余韻の中に山眠る

山梨市 堀内貞子 八五歳

涅槃図の嘆きのままに巻き込み

身延町 磯野幸子 八四歳

加藤 勝 選

春一番甲斐駒ヶ岳洗はるる

北杜市 浅川六子 七八歳

いわし雲空半分の大移動

富士河口湖町 伊藤和子 六七歳

鰯雲うろこ小さく生まれけり

富士吉田市 渡辺武人 七五歳

冬滝の空真つ青に落ちてくる

笛吹市 鈴木広明 八五歳

沢の陽のだらりと胡桃咲きにけり

韮崎市 上野妙子 九一歳

年齢は令和元年6月9日現在

同時に開催した「シルバー俳句大会」には、県内の60歳以上の人から、831句の作品が集まり、5月10日に3人の選者(山田省吾さん、上田正久日さん、加藤勝さん)により審査会を行い、特選15句、秀作30句、佳作45句が決定しました。



福祉の仕事を経験してみませんか？

～見て！聞いて！体験・実習！再チャレンジ！～

- 実際の現場での業務を体験・実習することにより、福祉・介護の仕事に対する関心を深め、就職へのイメージを高めていただくことを目的としています。
- 受入事業所一覧の中から体験を希望する事業所を選択し、体験・実習していただきます。（「受入事業所」は、本会ホームページでご確認ください）
- 実習・体験終了後に、事業所から講評・アドバイスがもらえます。

【職場体験対象者】

資格未取得者で福祉・介護の仕事に就きたい方、福祉の仕事に関心がある方など。

体験日数

1人(2日以内/1回を)2回まで体験可能
(土・日・祝日・年末年始除く)
※但し、令和2年2月末までの期間とします。

【職場実習対象者】

介護・福祉の有資格者で、現在、業務についていない方。

実習日数

1人原則として連続3日間
(土・日・祝日・年末年始除く)
※但し、令和2年2月末までの期間とします。

体験・実習費用

無料(但し、交通費・昼食代などは自己負担とします)
※万が一の事故に備え、ボランティア行事用保険に加入します。(保険料、人材センター負担)

体験実習助成金

体験・実習1日につき2,000円をお支払いします。

山梨県社会福祉協議会のホームページ<<http://www.y-fukushi.or.jp/>>をご覧ください。

- 「受入事業所一覧」の掲載
- 「申込書」「健康管理チェック表」のダウンロード



【お問い合わせ先】山梨県社会福祉協議会 山梨県福祉人材センター
☎055-254-8654(直通) FAX:055-254-8614
開所時間:月曜日～金曜日 9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

研修・講座のご案内

研修内容		開催予定日	開催時間	会場
キャリアパス支援	OJTリーダー研修	10月29日(火)	9:30～16:30	かいてらす
	モチベーションアップ研修	11月20日(水)	9:30～16:30	
カウンセリング研修		10月16日(水)	9:25～15:30	山梨県福祉プラザ
クレーム対応力向上研修		11月13日(水)	9:30～16:30	
社会福祉施設 主任介護職員研修		11月6日(水)	9:30～15:30	
財務分析実践研修		2月20日(木)	未定	
介護人材採用力強化セミナー		2月5日(水)	9:30～16:30	
キャリアパス支援	管理職スキルとマネジメント研修	12月25日(水)	9:30～16:30	かいてらす
	労働環境・処遇改善・人材育成力強化	1月15日(水)	9:30～16:30	
介護記録の書き方【応用編】		11月15日(金)	9:55～16:00	山梨県福祉プラザ
認知症周辺症状研修(なる前の状態の低下)		11月27日(水)	9:30～16:30	
アクティビティの差別化と実践		12月12日(木)	9:30～16:30	

※各研修の詳細は、山梨県社会福祉協議会ホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp/>)でご確認ください。

【お問い合わせ先】福祉人材研修課 研修担当 ☎055-254-8610

介護講座のご案内

一般県民向け・高齢者介護をしているご家族向け介護講座

【対象者】 高齢者介護をしている家族や介護に関心のある方など、どなたでも受講できます。

【会場】 山梨県福祉プラザ1階 介護実習普及センター・介護実習室、調理実習室



受講料は無料ですが、「調理実習をとおして学ぶ“介護食”講座」は材料費として1日当たり500円が必要です。

講座名	開催予定日	開催時間	定員
■テーマごとに学ぶ講座			
快適排泄のポイント	10月1日(火)	9:30~12:30	30名
お年寄りに起こりやすい病気と予防・救急法	10月11日(金)	10:30~14:30	30名
安心・安全入浴法(シャワー浴、部分浴)	10月31日(木)	9:30~12:30	30名
■調理実習をとおして学ぶ“介護食”講座 ※材料費として1日500円がかかります。調理実習で作った食事が昼食となります。			
お年寄りの食事の特徴と調理の実際	9月4日(水)	9:00~14:00	20名
お年寄りにやさしい献立作り・栄養を補う副菜の調理	9月6日(金)	9:00~14:00	20名
飲み込みの障がいに合わせて調理方法・トロミの付け方	9月10日(火)	9:00~14:00	20名
■認知症について学ぶ講座			
認知症サポーター養成講座(同じ内容で2回開催)	10月4日(金)	13:00~15:00	30名
	11月22日(金)	13:00~15:00	30名
医師から学ぶ!認知症の症状の理解と介護の心がまえ	9月13日(金)	13:30~15:00	30名
認知症介護の経験者のはなし ~認知症を持つ家族を介護して~	10月18日(金)	13:00~15:30	30名

出前出張講座

【対象者】 5名以上の団体・グループであれば、どなたでも受講できます。

【会場】 お近くの会場まで出前出張します!

介護実習普及センター(定員は20~30名)を会場にすることもできます。

●開催日程はご相談ください。(要日程調整)



講座名 (内容はお問い合わせください)	講座所要時間
入門介護講座(高齢者疑似体験)	1時間30分~2時間30分
福祉用具体験講座(福祉用具を目で見て触れて体験)	1時間30分
1日介護技術講座(1日で介護技術の基礎を学べる講座です)	2時間~4時間
介護保険制度の仕組みとサービス	1時間30分
リクエスト講座(車いすの操作方法や介助技術の基本などリクエストに応じます)※希望に沿えない場合があります	1時間~1時間30分
■認知症サポーター養成講座 (対象者に合わせた内容で講座を開催します)	
一般県民向け	1時間30分
小中学生向け	45分~60分
従業員向け(店舗や窓口業務をされている方など)	1時間30分~2時間
■認知症に関するその他講座	
認知症疑似体験(認知症の方の目線で撮影した映像を通して、認知症の方の行動や心理を学びます)	1時間~1時間30分
認知症家族介護者講座(認知症と診断された家族がいる介護者を対象に、認知症の人への介護の方法を学べる講座です)	1時間~1時間30分

【お問い合わせ・お申し込み先】 介護実習普及センター Tel:055-254-8680

やまなしNPO情報ネットをご活用ください!

当サイトは、山梨県内初のボランティア・NPO分野におけるポータルサイトとして、県内のボランティア・NPO分野の情報を一元化するための情報検索機能やデータベース機能を備え、情報の共有と交流を深めるとともに、ボランティア・NPO活動の推進を図ることを目的として、山梨県社会福祉協議会(山梨県ボランティア・NPOセンター)が運営しています。

各種情報の入手・発信をするためのツールとして、ご活用ください。

ご利用につきましては、やまなしNPO情報ネットトップページの「利用案内」から、「会員規約」をご確認ください。

トップページURL ▶ <https://www.yamanashi-nponet.jp/>

利用案内ページ
QRコード→



高齢者と障害者の
自立のための
第46回
国際福祉機器展
H.C.R.2019
46th Int'l Home Care & Rehabilitation Exhibition 2019



●併催イベント予定

▶ 国際シンポジウム

テーマ:「認知症高齢者にやさしいまちづくり
～その実践と、アートを活用した支援にみる可能性～」
内容: 認知症高齢者の尊厳を守り、生きがいを高めるため、特に芸術文化活動を通じて先駆的な支援をすすめている英国から講師を招き学びつつ、日本における支援とまちづくりのあり方について考察します。
【日時】2019年9月26日(木) PM
【会場】東京ビッグサイト 西展示ホール

- ▶ H.C.R.セミナー ～さまざまな参加者を対象に、役立つ最新情報を提供
- ▶ H.C.R.特別企画 ～最新機器、子ども用製品などを集中展示
- ▶ 出展社プレゼンテーション ～出展社の企画・運営による製品の紹介・PRなど

※プログラムは変更されることがあります。
最新情報と詳細はH.C.R.Webサイト(<https://www.hcr.or.jp>)でご確認ください。

その他、多彩なプログラムを実施!

WEBサイト▶ <https://www.hcr.or.jp>

H.C.R.2019事務局 〒100-8580 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
一般財団法人 保健福祉広報協会 Tel. 03-3580-3052 / Fax. 03-5512-9798

会期 2019年9月25日(水)～27日(金)
開催時間 10:00～17:30(27日のみ16:00まで)
会場 東京ビッグサイト 西・南展示ホール
(東京・江東区有明)
入場料 無料・登録制(一部のプログラムは有料)
展示 14か国・1地域の430社超、
約20,000点の福祉機器が一堂に!

道志村社会福祉協議会では地域福祉活動計画で「互いに支え合う村づくり」を基本理念におき、住民、ボランティア、企業、子どもから高齢者まですべての人が支え合える組織づくりに取り組んでいます。その中で、道志村の4つのボランティア部会の中から2つのボランティアについて紹介します。

社協 ボランティアセンター 情報コーナー

Information about a volunteer

Vol.

18

道志村社会福祉協議会

配食ボランティア部会

村受託事業として独居高齢者、調理困難な高齢者世帯の方に週2回、昼食を配っています。食事を配りながらの声掛けや、世間話をする時間が利用している高齢者さんの心を和ませます。昨年度は、緊急時対応の勉強会として救命講習を受講し、甲府市の「食事サービスをすすめる会」への視察研修も実施しました。コンビニやスーパーなどが村内にないので、地域で支え合える仕組みに取り組んでいます。



配食ボランティア



送迎ボランティア

送迎ボランティア部会

送迎手段のない独居高齢者や日中独居になる高齢者の方を、毎週木・金曜日に医科歯科診療所へ送迎しています。道志村は国道から離れた家も多く、自宅まで車が入るので、安心して利用できると利用実績を伸ばしています。また、昨年は車いすや、リフト車両の操作講習なども積極的に行いました。ボランティアからは「いずれ自分がお世話になる。今できることをやっていきたい」と、少子高齢化が進む道志村に今後もなくしてはならないサービスとして頑張っています。

地域のみなさんの「ありがとう」の笑顔がやりがいにつながり、ボランティア同士の交流も深まって、いきいき活動しています。

道志村 社会福祉協議会

業務時間：月～金曜日 8:30～17:15

住所：南都留郡道志村7710

TEL:0554-52-2072

FAX:0554-52-2089



福祉のおしごと マッチングカフェ

採用予定のある事業所と、お仕事を探しているあなたをつなぐ、個別面談・相談会を行います。

- 9月の予定 4日(水) 甲府市光風寮
 11日(水) みだい寮・育精福祉センター成人寮
 18日(水) ケアステーション新日本
 25日(水) 緑風苑・緑と風
- 10月の予定 2日(水) ニチイケアセンター
 9日(水) 特別養護老人ホーム風林荘
 16日(水) 県立あけぼの医療福祉センター
 23日(水) 老人介護保健施設 フルリールむかわ
 30日(水) 地域密着型介護老人福祉施設 サテライト万寿の森

時間 14:00~16:00
 会場 山梨県福祉プラザ4階 福祉人材センター
 問い合わせ 福祉人材センター ☎055-254-8654



読者アンケートのお願い

今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、ぜひご協力ください。

問1 「やまなしの福祉」の内容はいかがでしたか?

- 読みやすさ
 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

- 色・文字の大きさ
 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

- 記事の内容
 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

- 全体満足度
 ①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

問2 興味を持った記事を3つ教えてください。

問3 広報紙「やまなしの福祉」で取り上げてほしい内容や広報紙に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

FAX・はがき・メールでご回答ください

[宛先] 〒400-0005 甲府市北新1-2-12
 山梨県福祉プラザ4階 山梨県社会福祉協議会 総務企画課
 FAX 055-254-8614

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp/>

※右記QRコードからも回答できます



令和元年度 赤い羽根共同募金運動
街頭募金活動を実施いたします

山梨県社会福祉協議会では、本年度も赤い羽根共同募金運動(10月~3月)の開始にあわせ、甲府駅周辺で街頭募金活動を行います。

日時や申込方法などは、今後本会のホームページ(<http://www.y-fukushi.or.jp/>)に掲載いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

問い合わせ 総務企画課(電話/FAX)
 055-254-8610/055-254-8614



広報紙「やまなしの福祉」を
パソコンやタブレットで閲覧

広報紙「やまなしの福祉」は、本会ホームページでPDF版の閲覧ができるほか、電子ブックでもご覧になれます。

ホームページ <http://www.y-fukushi.or.jp>

9月号は
以下の通りです。

9月号のID
yfukushi349

Android用



iOS用



※パスワードは必要ありません

貸し出し
図書紹介

福祉リーダーの強化書

どうすればぶれない上司・先輩になれるか

著者 久田則夫
 発行所 中央法規出版株式会社
 〒110-0016
 東京都台東区台東3-29-1

ホームページ <https://www.chuohoki.co.jp/>

役割に違いはあれど、すべての職員に必要なリーダーシップ。

本書では、苦手な部下との向き合い方や注意すべきダメ上司の類型、磨きをかけるべきチカラ等、久田流リーダーシップ論を余すところなく紹介しています。

福祉のプロから一歩進んだ、リーダーシップを発揮できる存在になれる一冊となっています。

このほかにも介護・看護・福祉についての本(約300冊)やビデオ・DVD(約200本)を貸し出しています。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。☎055-254-8680



LINE@

友だち募集中。

友達登録で人材センター情報をGET!!

山梨県福祉人材センター



関自共の
自動車共済

団体割引 10%
福祉施設割引 10%

*団体割引は共済契約者、被共済者が当組合の規定を満たす場合のみで、自動車保険と損害率により決定し、毎年見直しされます。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部 甲府市飯田 4-4-2 TEL.055-237-8331 FAX.055-237-8332